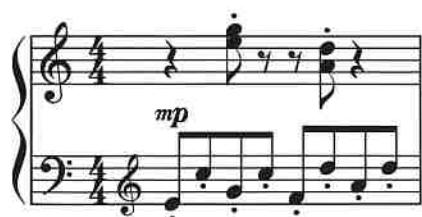


『Starry sky stage 願いをのせて』 寸評

- ・ きらびやかなフルートの魅力満載な作品
- ・ ハーモニーにもあそびがあつて自由な夜空を思い浮かべる
- ・ ピアノがかろやかかつ音域利用に工夫がある
- ・ 勢いのあるラスト 印象にのこる
- ・ 頭韻の効いたタイトルもS音がさわやか

完成度をさらに上げるために

- ・ m.5 b.4 Fl. フェルマータにテヌートでは音価の指定に混乱する
- ・ m.8 b.4 ピアノ最高音もミ♭
- ・ m.11 b.1 ピアノ ファ→ミ♯ 長三和音
- ・ m.5 b.2-3 ピアノ左手 右手と重複する音は省いてよいのでは
- ・ m.16 Fl. の二分休符にもフェルマータを
- ・ m.7 b.2 Fl. 八分音符をつなげた連符でもよい
- ・ m.9 b.1-2 ピアノ二分休符でも
- ・ タイトルは各語の語頭を大文字とする方がよい **Starry Sky Stage**
- ・ m.1 ピアノ左手はへ音記号のち、ト音記号にしてもよい
大譜表は本来ト音記号とへ音記号の二段で構成されるべきものだから



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

世界観を見出したね。

持麿 逸